

平成13年度

# 公立刈田総合病院の経営状況

## 診療機能の充実と

## 医療サービスの向上を図りました

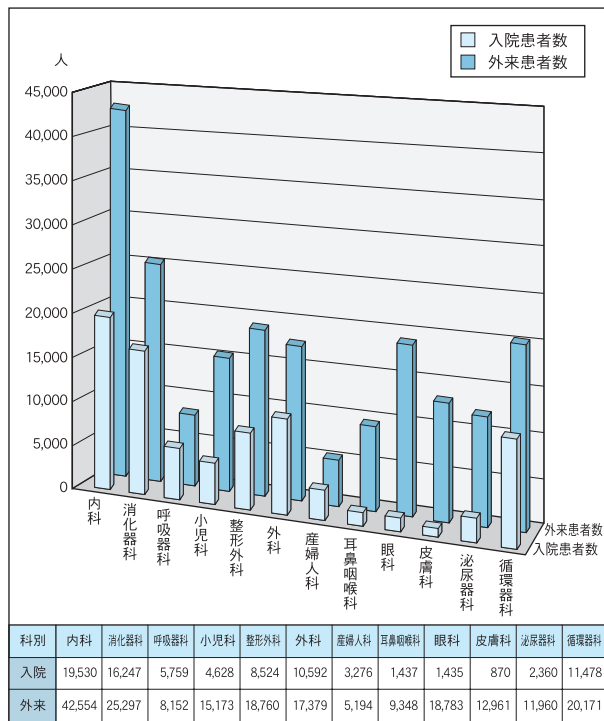
医療ニーズの多様化と、高度専門化・細分化される医療情勢の中で、当院では良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の整備を図るため、病院移転新築工事を施工し、平成十四年三月に竣工いたしました。

また、診療機能を充実させるため、全身用コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴断層撮影装置などを更新し、医療機器の整備を図るとともに、毎週土・日曜日については、内科系と外科系の二名の医師が日当直体制にあたり、住民の皆様へより充実した救急医療を行ってまいりました。

患者さんの数は、平成十二年度と比較して、延べ数で入院は一千七百九十五人の増加、外来は四千四百四十六人の減少となりました。

また、収入においては、入院収益で二億九千四百七十六万一千円余の増収、外来収益では九百五十三万九千円余の減収となり、収入総額は、五十億五千三百九十二万六千円余で、前年に比べ三億三千八百五十四万四千円余の増収となりました。

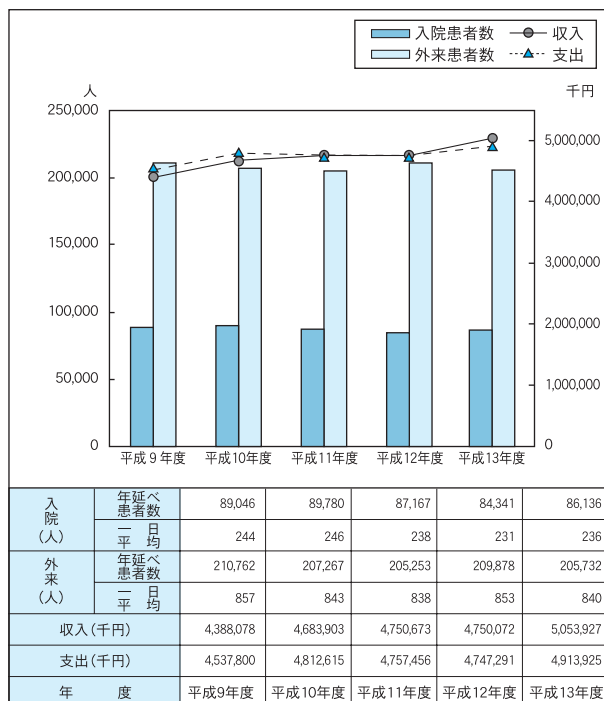
平成13年度診療科別患者数



一方、支出においては、職員一人丸となって経費の節減に努めました結果、前年に比べ一億六千六百六十三万三千円余の増加にとどまり、費用総額は四十九億一千三百九十二万四千円余で、収支差引き一億四千万二千円余の純利益となりました。

最新の設備と医療機器類を備え、た新しい病院が完成した今後は、さらにより良い医療体制を築いていくため、診療機能の整備充実を図るとともに、地域の中核病院として信頼される病院体制確立のため、職員の資質の向上と経費の節減に努め、財政基盤の確立と経営の健全化を図り、より質の高い患者サービスを目指します。

年度別状況



平成13年度収入・支出

